

円借款案件【事後モニタリング】 結果表

国名	バングラデシュ
案件名	東部バングラデシュ橋梁改修事業

I. 案件概要

(1) L/A 承諾額	78.2 億円
(2) L/A 調印日	2009 年 3 月 1 日
(3) 実施機関	運輸省道路局道路・国道部（RHD: Roads and Highways Department）
(4) 事業概要	バングラデシュ東部地域において橋梁の架け替え及び補修を行うことにより、交通ネットワークの改善を通じて輸送の効率化を図り、もって地域経済の活性化及び地域間格差是正に寄与するもの。

II. レビュー/モニタリング結果

(1) 事後評価における課題・指摘の概要	事後評価においては、橋梁維持管理システムが稼働していないことを以って運営・維持管理体制に一部課題があるとして、「将来にわたって RHD が JICA 協力事業の効果を高められるよう、RHD のデータ収集状況をフォローし、必要に応じてさらに技術協力を行うなど、橋梁維持管理能力の向上に向けて引き続き支援していくことが望ましい。」との提言があった。
(2) 対応結果/今後の対処方針/事業目標の達成見込み	橋梁維持管理分野については、1999 年以降断続的に計 8 代にわたる橋梁維持管理の長期専門家派遣や技術協力「橋梁維持管理プロジェクト」（2015 年—2018 年）を実施し、実施機関（RHD）に対して維持管理能力向上に資する支援を実施してきた経緯がある。事後評価報告書の担当部見解にも記載の通り、事後評価時点において、技術協力「過積載車両管理・規制能力強化プロジェクト」（2020 年—2025 年）の実施が決まっており、加えて技術協力「道路橋梁維持管理アドバイザー」（2021 年—2024 年）の実施が計画されていた。前者の協力において、RHD へ過積載車両対策の能力支援を実施中である。本技術協力においては、道路保全のため過積載に関するデータベースシステムを構築・活用しながら過積載車両の現状分析を行い、過積載車両取り締まり能力強化を行っている。さらに、橋梁維持管理の本邦研修に加え、実施機関の職員を日本の大学院に派遣し道路橋梁のアセットマネジメントの研修を受講してもらうなどの取り組みも長期に渡り実施してきた。それらの結果から、橋梁維持管理データを蓄積し、補修計画策定を行うためのツールである橋梁維持管理システムが構築され、データの収集・分析が開始されるなど、政府内の取り組みが進展してきている。

さらに、2024 年中に、技術協力「持続的な橋梁維持管理能力向上プロジェクト」（2024 年—2027 年）を開始予定である。本技術協力において、民間事業者への橋梁維持管理業務委託に向けて橋梁維持管理システムのマニュアルの改訂を実施予定であり、今後も同国が自立的に橋梁維持管理をできるようになるよう、協力を続けていく予定である。

（3）教訓

事業の持続的な効果発現のため、円借款で橋梁整備を行う場合は、同国が自立的に橋梁維持管理をできるようになるよう、必要に応じて維持管理体制強化等の技術協力でフォローアップを検討する。